

2026 年 1 月 8 日（木）第 7 回例会

【対面式 ZOOM ハイブリッド例会】

会 長 時 間



ロータリーは自己研鑽の場です。みなさんこんばんは。

改めまして新年あけましておめでとうございます。今年もどうぞよろしくお願いいたします。

今日の例会プログラムは昨年に続き「私の大切にしている事」というテーマで会員卓話です。ロータリーの例会は皆さんが「自己教育を行う主要な場」です。当クラブは、外部講師を招くこともありますが、会員による卓話を基本とします。それは、ほかの会員の話から学ぶことがたくさんあるからです。また、自分の意見や考えを時間内に披露する訓練にもなります。これからも会員卓話の機会がたくさんありますので、その意義をご理解いただき、取り組んでいただきますようお願いいたします。

例会についてもう一つお願いがあります。それは、例会には出席していただきたいということです。以前お話ししたように、例会スケジュールは次年度まですでに決定していますので、お仕事優先とはいえ、その日は万難を排してご出席いただくようお願いいたします。そして、万が一ご欠席の場合は、先日、福本幹事からメールがありましたように、欠席された例会の会報と動画を視聴し、事務局宛その旨メールいただければ、メーキャップと見なし出席扱いとします。

次に、他クラブと友好クラブとなることについてご報告いたします。当クラブは、11月に設立された福岡エアポートロータリークラブ、9月に設立された大分 OliOli ロータリークラブと、友好クラブとなることを、12月4日の理事会で決定しました。福岡エアポートロータリークラブの田村創立会長とは以前からお付き合いがあり、当クラブのチャーターナイトにもご出席いただいておりますが、その田村さんから、同年度に設立したクラブどうして交流してつながりを深め、意義ある奉仕プロジェクトを実施しようというお誘いを受けたものです。大分 OliOli ロータリークラブのチャーターナイトには私が出席しております。今月21日に開催される福岡エアポートロータリークラブのチャーターナイトには、会長の私と福本幹事が出席し、友好クラブ締結の調印式を行う予定です。また、当クラブのチャーターナイトで田村さんと知り合われた榎下さんも参加予定です。これからどのような活動をしていくかについては、皆様のご意見を尊重しながら決めていきたいと思います。

次に、次回例会後のクラブ協議会についてお話しします。例会後、と申しましたが、クラブ協議会は例会後に開催します。具体的には、例会を通常とは異なる進行方法で5分程度行った後、クラブ協議会を開催します。少しロータリーのルールについてお話ししますと、クラブ協議会や懇親会など、これからも開催することがありますが、これらは、例会とは別に行うもので、例会の一部ではありません。たとえば、3月に飲食を伴う懇親会を開催しますが、ウェブサイトのスケジュールをご覧になるとわかるように、「例会並びに懇親会」と記載されており、例会と懇親会は別物ということです。よく、「今日の例会は会員懇親会です」というアナウンスを聞くのですが、これは誤りで、例会を短くして終了させた後に懇親会が始まります。

さて、このクラブ協議会では、次年度、つまり今年の7月以降、どのような活動をしていくかについて、みんなで話をしようという会です。どんな奉仕活動をしたいか、活発に発言いただきたいので、あらかじめ各自で考えていただくようお願いいたします。

また、クラブ協議会に先立ち、本日の理事会で決定した次年度の委員会構成や、会長から各委員会の目標についてのお願いなどをメールします。ご自分がどの委員会に所属するか、その委員会はどのような役割を負っているか、クラブ協議会に先立ってご理解いただきますようお願いいたします。

【職業奉仕について】

1月には国際ロータリーが定める「職業奉仕月間」です。職業奉仕はロータリーの金看板とも言われ、ロータリー独特の奉仕概念です。以前お話ししたように、1905年にシカゴロータリークラブが設立されてから3年後に入会したアーサー・フレデリック・シュルドンが、利己と利他の調和を図り、正しく商売をして正しく儲けることが大切であること、最終的には、自分の職業を通じて世の中をよりよいものにしていくという奉仕概念をロータリーにもたらしましたが、この奉仕概念が現在、職業奉仕と呼ばれています。

職業奉仕の目的は3つあります。それは、ロータリアンが自分の職業と業界全体の道徳的水準を高めること、全ての職業を等しく尊重すること、職業を通して人のためになり世の中をより良くしていくこと、以上3つです。簡単に言うと、大企業の社長も居酒屋の大将も、どんな職業であっても全て等しいと思える自分になり、そのような人に優しくできる自分になって道徳観を失わずに仕事をするすることで、結果として世の中を良くしようとするものです。最近では、自分の職業的スキルを利用して人々を助けることも職業奉仕と呼ばれています。

そして、この職業奉仕の根底には、利己と利他の調和、すなわち、自分の利益や都合ばかりを考えるのではなく、相手のことも考えて、そのバランスを取っていくという基本的な姿勢があります。

こうしたことを言葉で言うのは簡単ですが、果たして皆さんはこれを実践できているのでしょうか。

数年前に巷を騒がせた食品偽装事件がありました。食品偽装とは、商品である食品の内容を偽って不当な利益を得るものでしたが、この中には、利己と利他の調和を基礎に道徳的な商売をするはずのロータリアンもいたのです。まさに、わかるとできるは大違いということです。

また、皆さんは、どんな職業であっても全て等しいと思えるのでしょうか。日本は長年続いた封建社会の影響で、今だに縦社会的要素が強い国です。職業に貴賤（きせん）なしと頭でわかっている、無意識に軽く見て馬鹿にしている職業があるのではないのでしょうか。

規模の大小や金額の差、そうしたものを一切捨てて平等の境地に至るのがロータリアンです。まずは、自己教育によって、この世の全ての職業を、どれも尊いものとして尊重するロータリアンにならなければなりません。そして、その境地をベースに、利己と利他の調和を取りながら、「四つのテスト」や「ロータリアンの行動規範」に照らし、自分の仕事を正しく行わなければなりません。ロータリークラブは、わかるだけでなく、このような「実践」ができる自分になるための、人生をかけた自己教育の場です。

最近、国際ロータリーは、長年重視してきた DEI について、その記述を排除する決定をしました。おそらくトランプ政権で圧力を受け、それに対応したものでしょう。先ほど申しました「ロータリアンの行動規範」にも DEI に関する記述がありましたので、これを改訂し、名称も「会員の行動規範」という名称に変わりました。しかし、DEI という考え方は、ロータリー精神の根幹をなす重要な考え方です。その精神は私たちが守っていかなければならないと思っています。

以上で今日の会長時間を終わります。

例 会 次 第

- ・開会点鐘
- ・国歌斉唱（各月第1例会のみ）
- ・ロータリーソングの唱和 「我等の生業」
- ・「四つのテスト」唱和（各月第1例会のみ）
- ・来訪ロータリアン及び来客の紹介
中野 梢様（伊藤さんゲスト）
- ・会長時間
- ・幹事報告
- ・出席報告
- ・委員会報告
- ・例会プログラム
会員卓話「私の大事にしていること」
- ・閉会点鐘

幹 事 報 告

- ・次回例会は次週1月15日（木）午後6時から「おりづるタワー」にて開催します。例会後にクラブ協議会を実施し、次年度の対外的奉仕について話し合います。メイクアップの受付とZOOM配信は行いません。
- ・次回例会後、午後7時30分から新年会を開催します。場所は追ってご連絡します。
- ・「ロータリーの友」1月号が届いていますのでお持ち帰りください。
- ・メイクアップについて方法とお願い。

出 席 報 告

本日の例会 参加会員数： 20名中19名（うちオンライン参加者3名）【出席率95%】
来賓・来客： 3名（うちオンライン参加者1名）

委 員 会 報 告

なし

ス マ イ ル BOX

- ・諏訪昭浩さん 1,000円。（名札を忘れてしまいました。）
- ・平本裕一郎さん 2,000円（名札と徽章を2回忘れてしまいました。）
- ・伊藤弘幸さん 1,000円（新年おめでとうございます。今年もよろしくお願いいたします。）

皆さんありがとうございました！

プログラム

会員卓話：「私の大事にしていること」

前回に引き続き一人5分で卓話をしていただきました。

渡辺郁さん



皆さま、こんばんは。渡辺郁です。本日は自己紹介を兼ねて、私が大切にしている考え方についてお話し致します。起業前に出会った、小川正子さんの「生きていく日に 愛と正義の十字路に立たば、必ず愛の道に就け」という言葉は、私の軸となっています。正しさは立場によって変わりますが、愛、すなわち人を大切にする選択は、人を切り捨てません。外国人就労支援の現場でも、白黒つけられない場面は多くあります。だからこそ私は、「正しいか」ではなく「人を大切にしているか」を問いたいと思っています。この考え方は、ロータリーが大切にしている奉仕や思いやりの精神とも深く通じるものだと感じています。迷いながらも、愛の道を選び続けたい。その思いで、これからも活動してまいります。

山越千彰さん



私は飲食業界に34年いますので一番大事にしているのはお客様です。22年お店を営業していますがお客様ファーストを常に心掛けてお店を続ける事が出来ました。お客様がいらっしゃらなかったら店を続出来ませんからお客様の言う事はできる限り受け入れる事にしています。例えばお客様の飲みたいお酒があればすぐに仕入れたり、営業時間より早く来店されるお客様を受け入れたり小さな事からコツコツじゃないですけど 店に来店されるお客様が笑顔になれる場所を作り守りながら今後も頑張っていきたいと思います。

山本博正さん



私が、大事にしている事は、私の店で勤務しているミャンマー出身の特定技能外国人のシュンさんへの教育です。このテーマを頂いた十月初旬、私は、彼女に、仕事上のスキルアップ、日本語の上達をさせたいと、熱心に指導しておりましたが、二か月経った現在は、私の心を悩ます事になってしまいました。そうなった原因は、彼女の成長に期待を持ちすぎた余り、些細なミスを毎回注意してしまった事にあったと思います。振り返れば、彼女を成長させたいと思う気持ちには、私のエゴが大きくあったと反省しています。人の成長の一助となるには、相手を変えるのでは無く、まず、私自身が変わっていかなければいけないと気付かされました。相手の伸びようとする力を引き出せる、そういう指導者になりたいと思います。

山本健蔵さん



私は 1980 年、広島生まれ広島育ち、呉市在住の 45 歳です。私が大切にしていることは、自分の人生の可能性を信じることです。幼少期、親から成績はオール 1 のお前はダメなヤツだといつも言われ、自分を本気でダメなヤツだと思い込んでいました。中学生の頃から道を外したこともあり、満たされない幼少期を過ごしていましたが、自分を変えるキッカケは 19 歳の時に出会った保護司との出会でした。私も保護司として活動をさせて頂いております。多くの問題行動は不快感からくると言われます。私も幼少期に満たされない不快感から問題行動を起こしましたが、親は私に立派な社会人になって欲しいと厳しくしたんだな、と今では理解出来ます。保護司活動を通じて、人生は諦めなければ、いつからでも再スタート出来るんだと学び、どんな時でも自分の人生の可能性を信じています。

川口茂博さん



私は、兵庫県で生まれ大学から広島県に参りました。現在、広島市在住の 45 歳です。私が大切にしていることは、人生良い時もあれば悪い時もあり、真面目に頑張っていると必ず道は開けてくるという事です。大学院を卒業しましたが、時は、超氷河期の就職難、親が自営業という事もありどうせ 5～6 年で辞めるんだろうと全滅。とある政治家の先生に出会う機会があり、政治家事務所にお世話になる事となりました。当初は、激務で毎日辞めたい思う日々が続きましたが、いつからかやりがいを感じ、以来、約 15 年間お世話になりました。その中で、選挙に出ないかとの話を頂き、人生の大きな潮目を感じました。今まで選挙に出馬することなど考えた事もなかったですが、地域に望まれ今までの自分の経験がお役に立つのであればと一大決心をし、多くの皆様のお蔭で今があります。